

# 素盞鳴男神社 岡山県神社庁 神社検索システム

## 由緒

江戸時代、牛窓地方に疫病が流行した際、牛窓神社の境内に牛頭天王の祠を祀って悪疫退散を祈願した。これが疫神社の起こりで、のちにまた疫病に見舞われた紺浦では、牛窓神社境内から、この疫神社を現在地に移したと伝える。明治2年、素盞鳴神社と改称された。神社旧記には、「疫病流行、人命を失う者少なからず、依て此所に勧請し、衆人信仰ますます多し、紺浦氏神同様に崇尊し云々」と有り。口碑によると疫病の大流行後、習慣として7年毎に疫病祓いの祈禱が行なわれた。先ず神前に草花を飾り、各家々では団子を作って白米と共に神前に供え、部落の老若男女が境内に参集して、太鼓を叩きながら呪文を唱え、白布を身体に巻き、長く長い注連縄を相互に手繰りつつ合掌して、これを拝んだという。故にこれをお注連の舞いと称え、賑やかな神事であったと伝えられている。それ故、古老は今尚、御葉神様、疫神様、お注連様と称えている。本社は、牛窓神社、五香宮とともに古い由緒を有する神社で神功皇后が西国よりの御帰途、舟をこの浦に泊めさせられ、磯辺の岩に腰をお掛けになり、この宮に伝わる舞を御覧になられたと伝え、又一説には、彼の国より連れて来た童見に、舞を舞わせて、海路の無聊をなぐさめられたとも伝えている。そしてその特、腰を掛けさせられた岩を腰掛石と唱え遺蹟として今に保存せられ、その童見の舞を唐子踊り、唐子の舞いと称して、毎年秋季祭礼には神事としてこれを奉納している。



前の写真へ次

## 基本情報

神社コード 08004

神社名 素盞鳴男神社（スサノオジンジャ）

通称名 疫神社

旧社格 村社

鎮座地 〒701-4302 瀬戸内市牛窓町牛窓4928

電話番号

FAX番号

駐車場 有 5台

御祭神 素盞鳴命

御神徳 諸疫退散

主な祭典 10月第4土曜日・日曜日：秋祭り  
6月第2日曜日：夏祈禱

宮司宅電話

0869-34-5197

URL

e-mail

特記事項

岡山県重要無形文化財 唐子踊り 秋祭りの日曜日午後2時から

氏子地域

交通アクセス

牛窓町役場の西200m (紺浦交差点横)

神事一覧

夏祭 (夏祈祷) 祭礼日時: 6月第2日曜日15時 文化財指定: 無 [神事詳細](#)

唐子踊り 祭礼日時: 10月第4日曜日13時 文化財指定: 県文化財 [神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)

